

《キーワード》 歯科審美、ホワイトニング、審美修復・補綴、色調選択、接着、咬合・咀嚼、不正咬合、顎顔面の形態・機能異常

《担当者名》 別途周知

【概要】

歯科審美学とは、科学的な手法によって歯・顎・口腔及び顔面を含めた「美」を探り、歯の喪失又は崩壊によって失われた形態と機能を回復・修復するための学問である。また、審美歯科とは、歯科審美学の基礎と臨床に基づいて口腔及び全身の健康を維持・増進するための歯科診療をいう。

本科目の目標は、ホワイトニングをはじめとする審美修復・補綴に必要な基礎的知識を習得するとともに、不正咬合や顎顔面の形態・機能異常に対する治療法を理解し、さらに、咬合・咀嚼が全身の健康に及ぼす影響についての理解を深めることである。

【学修目標】

1. 歯科における色合わせと色調選択について説明できる。
2. 変色歯のホワイトニングについて理解する。
3. 象牙質接着について説明できる。
4. 審美補綴について理解する。
5. 不正咬合が審美に及ぼす影響及び矯正学的対処法について理解する。
6. 顎顔面の形態・機能異常についてその治療法について理解する。
7. 咬合・咀嚼が全身の健康に及ぼす影響について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科における色合わせと色調選択		斎藤 隆史
2	変色歯のホワイトニング		斎藤 隆史
3	象牙質接着		根津 尚史
4	審美補綴		別途周知
5	不正咬合が審美に及ぼす影響及び矯正学的対処法		別途周知
6	顎顔面の形態・機能異常についてその治療法		別途周知
7	咬合・咀嚼が全身の健康に及ぼす影響		別途周知
8	学外講師によるセミナーの開催		別途周知

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

別途時間割を配付する。

【学修の準備】

提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくこと。